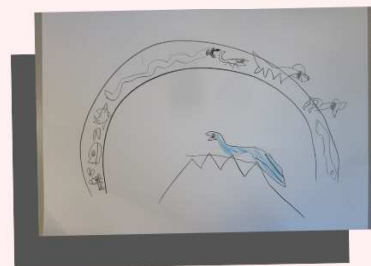


たんばささやま
子ども・若者
みらいプラン
～統計資料編～



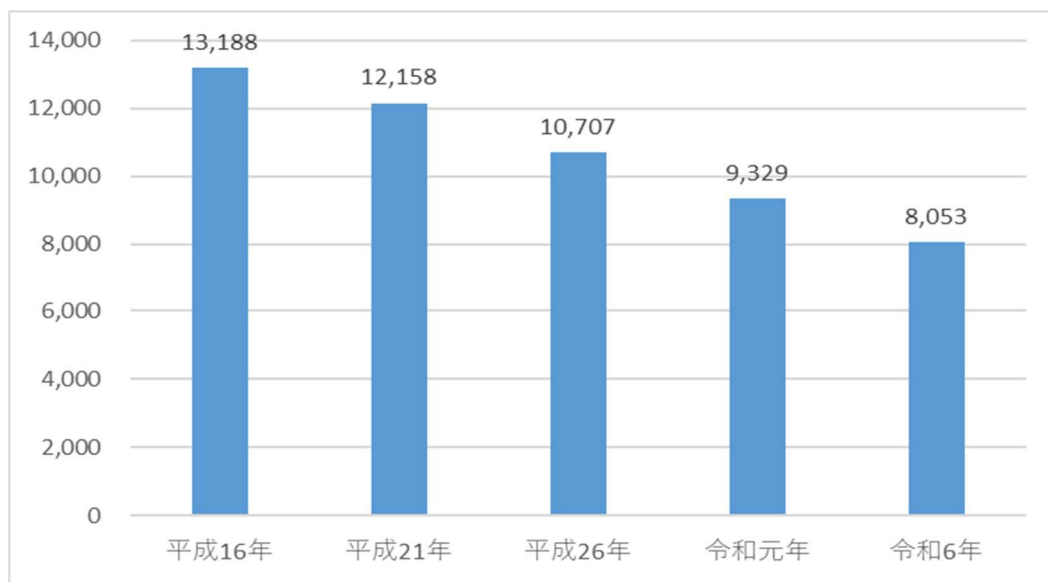
目次

1	若者人口の状況	1
2	外国人人口の状況	2
3	若年層の障がいのある人の状況	3
4	結婚件数等の状況	5
5	若者の就労状況	7
6	女性の就労状況	8
7	子育て世帯の推移	9
8	こども・若者をめぐる自殺の状況	10
9	子育て支援に関するアンケート調査結果	12
10	児童・生徒数の状況	15
11	学力状況調査の結果	17
12	いじめ認知件数	18
13	不登校児童生徒の状況	19
14	こどもの貧困をめぐる状況	20
15	支援が必要な子ども等の状況	22
16	中学校部活動をめぐる状況	23

(1)若者の人口の状況

■15歳から39歳の人口推移

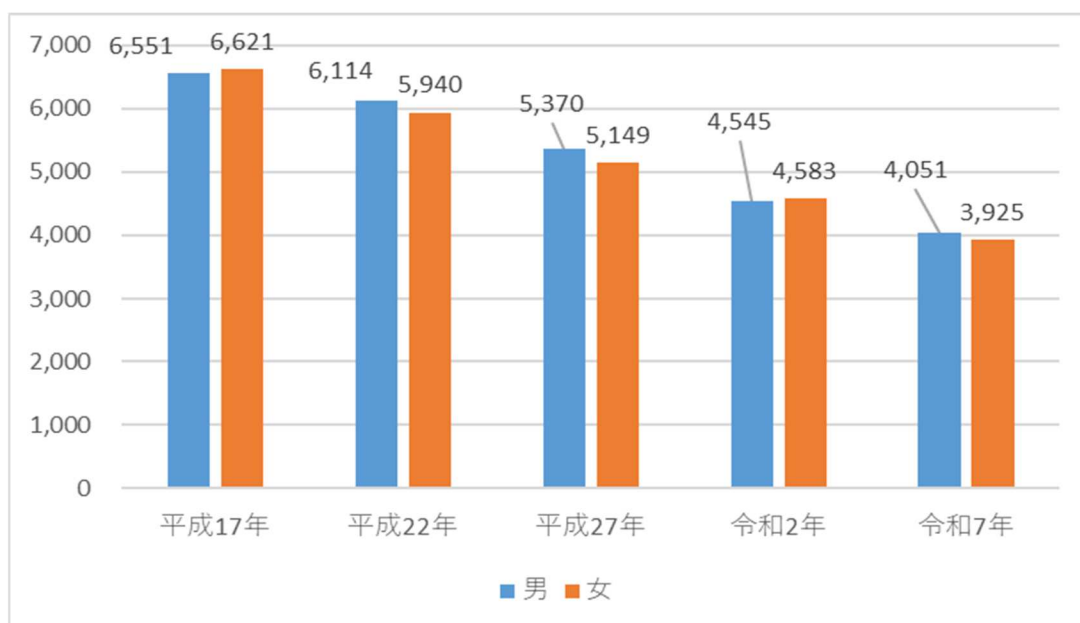
若者(15～39歳)人口の推移をみると、平成16年度から令和6年度にかけて5,135人(38.9%)減少しています。



資料：市民生活部市民課 各年度末現在 ※住民基本台帳法に基づく

■15歳から39歳の男女別人口推移

男女ともに減少しています。平成17年度から令和7年度までの減少率は男性が38.1%、女性が40.7%と女性の減少率の方がやや高くなっています。

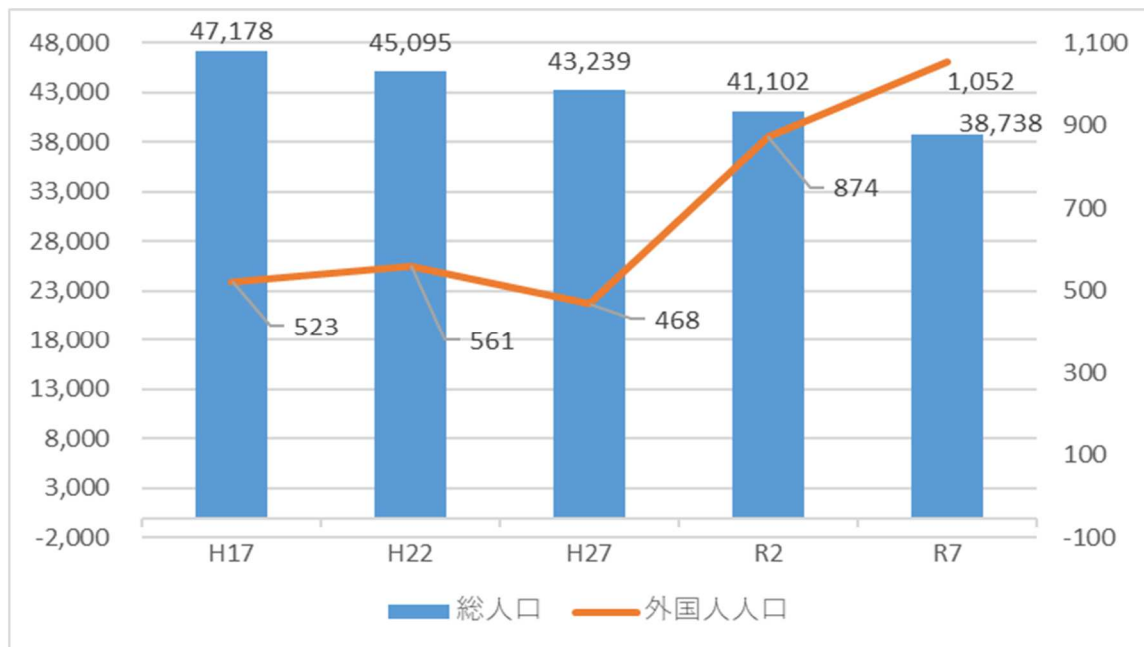


資料：市民生活部市民課 各年9月末現在 ※住民基本台帳法に基づく

(2)外国人人口の状況

■総人口と外国人人口の推移

総人口が平成 17 年度から令和 7 年度にかけて 8,440 人も減少したのに対して、外国人人口は 529 人増加しました。総人口に占める割合も 1.1%から 2.7%まで増加しています。



資料：市民生活部市民課 各年 4 月末現在 ※住民基本台帳法に基づく

■年齢別外国人人口の推移

外国人人口を年齢別にみると、0～10 歳代から 30 歳代の若者層が多い状況で、この年代が 72%を占めています。特に 20 歳代の増加が著しく、平成 26 年と比べて人口が 298 人増加し、人口増加率も 214.4%となっています。

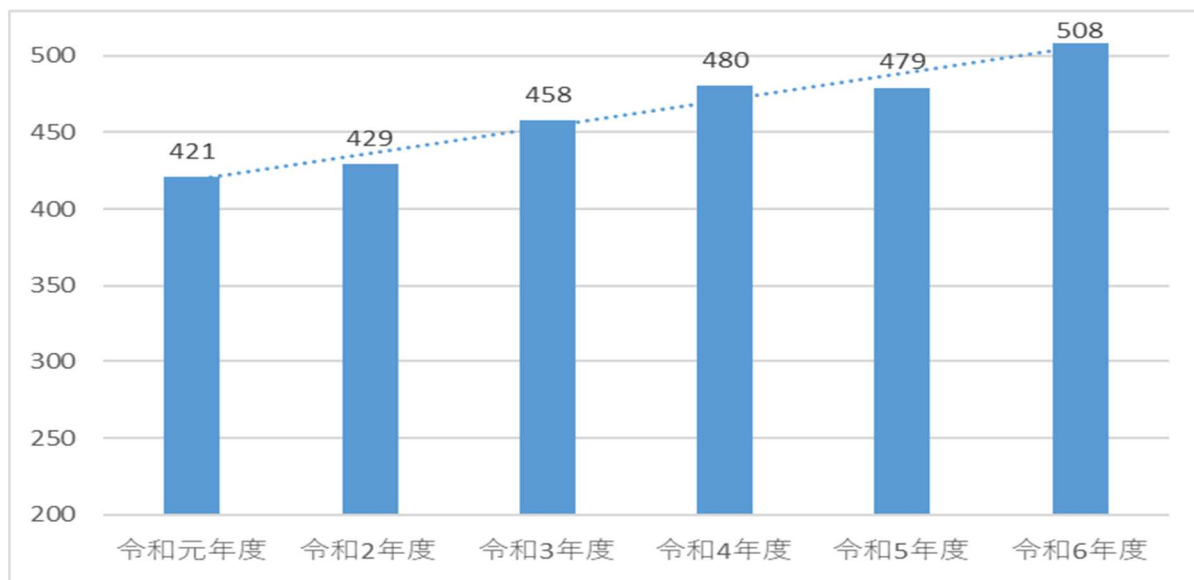
年齢層	H26	R5	H26→R5	
			増加数	増加率
0～10歳代	40	77	37	92.5%
20歳代	139	437	298	214.4%
30歳代	113	225	112	99.1%
40歳代	77	99	22	28.6%
50歳代	50	78	28	56.0%
60歳代	37	60	23	62.2%
70歳代	16	30	14	87.5%
80歳代	8	8	0	0.0%
総計	480	1,014	534	111.3%

資料：市民生活部市民課 各年 3 月末現在 ※住民基本台帳法に基づく

(3)若年層の障がいのある人の状況

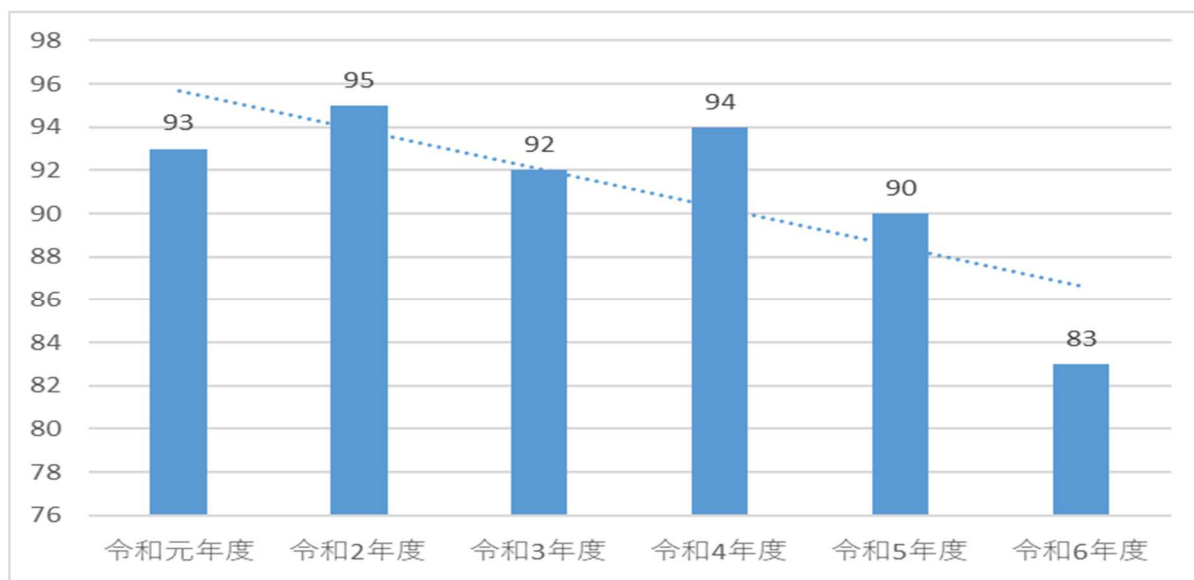
40歳未満の障害者手帳所持者数の推移を見ると、令和元年度から令和6年度にかけて増加しています。障がいの種別で見ると「身体障害者手帳所持者(※1)」は減少傾向となっており、「療育手帳所持者(※2)」、「精神障害者手帳所持者(※3)」は増加傾向にあります。

■40歳未満の若年層における3障害者手帳所持者数合計



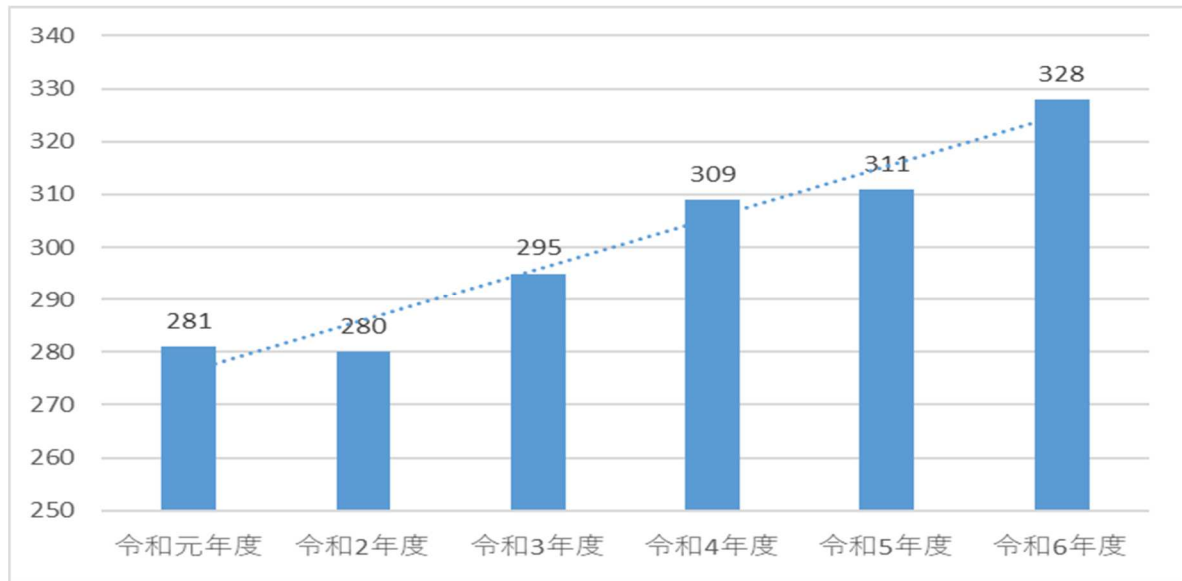
資料：社会福祉課 各年年度末時点の数値

■40歳未満の若年層における身体障害者手帳所持者数



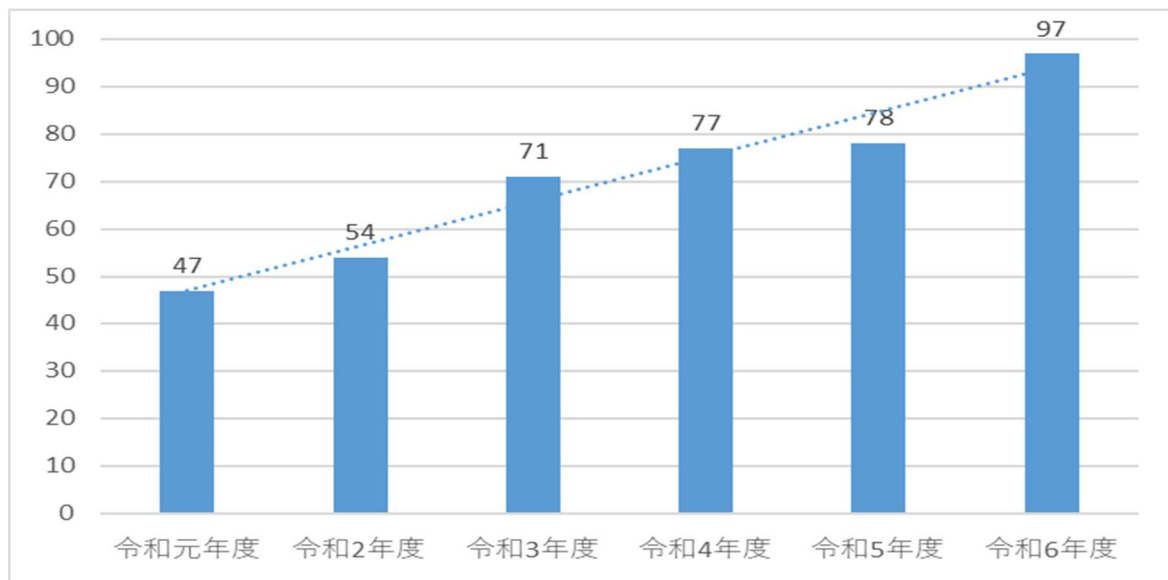
資料：社会福祉課 各年年度末時点の数値

■40歳未満の若年層における療育手帳所持者数



資料：社会福祉課 各年年度末時点の数値

■40歳未満の若年層における精神障害者保険福祉手帳所持者数



資料：社会福祉課 各年年度末時点の数値

※1 身体障害者手帳所持者

身体に障害がある人が、必要な支援やサービスを受けるために交付される手帳を持っている人。

※2 療育手帳所持者

知的障害のある人が、福祉サービスや支援を受けるために交付される手帳を持っている人。

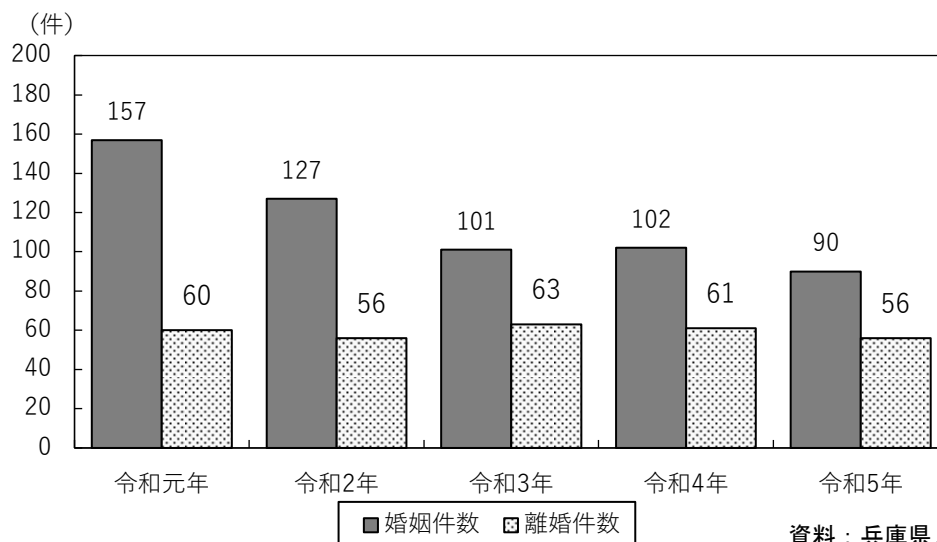
※3 精神障害者保健福祉手帳所持者

精神疾患のある人が、生活支援や福祉サービスを受けるために交付される手帳を持っている人。

(4) 結婚件数等の状況

■ 婚姻件数及び離婚件数の推移

婚姻件数は、令和元年から令和5年にかけて減少傾向にあり、離婚件数は、令和元年からほぼ横ばいで推移しています。

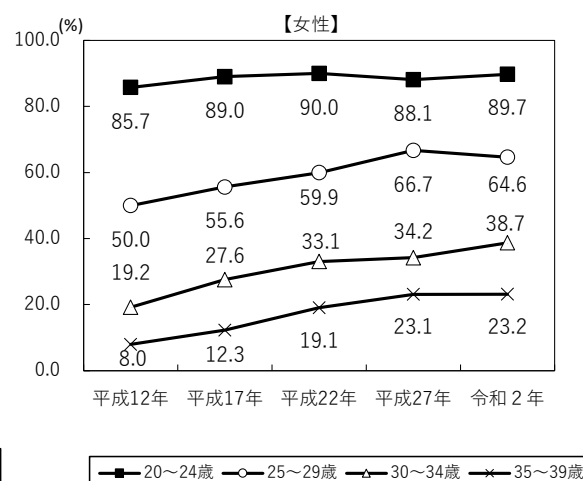
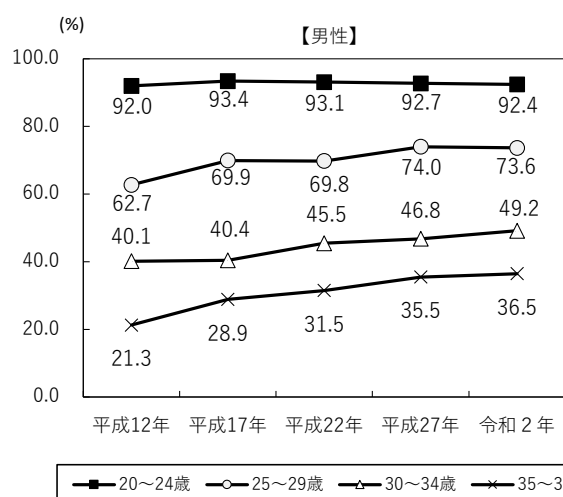


資料：兵庫県人口動態統計

■ 未婚率の推移(男女別・年齢階層別)

男性女性ともに、未婚率は上昇傾向にありますが、30歳代後半は男性女性とも大きな変化は見られません。

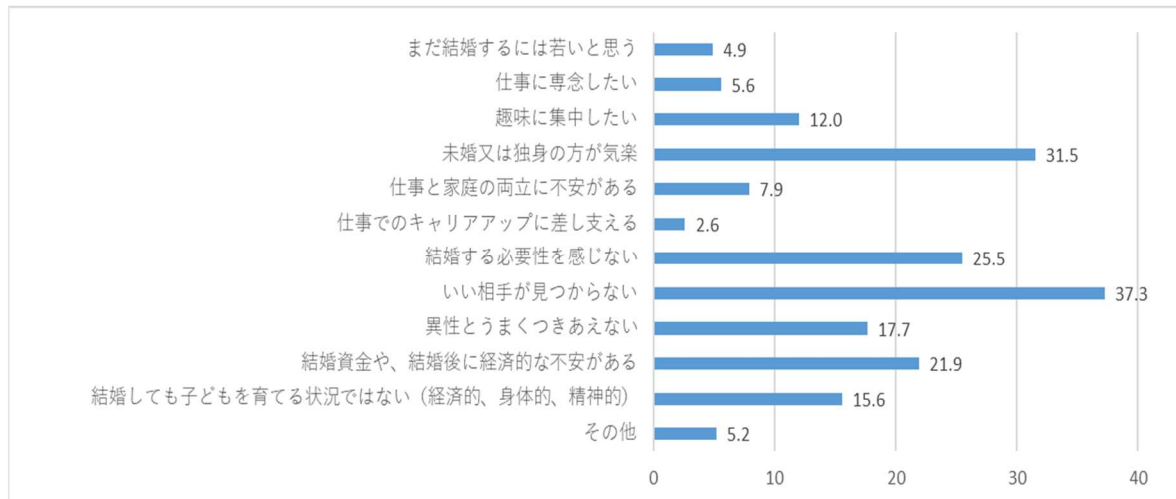
■ 未婚率の推移(男女別・年齢階層別)



資料：国勢調査

■〈兵庫県〉未婚・独身でいる理由(複数回答:n=1,681)

兵庫県が実施した少子対策・子育て支援に係る環境・県民の意識調査によれば、未婚・独身でいる理由は「いい相手が見つからない」が 37.3%と最も割合が高く、次いで「未婚または独身の方が気楽」が 31.5%となっている。

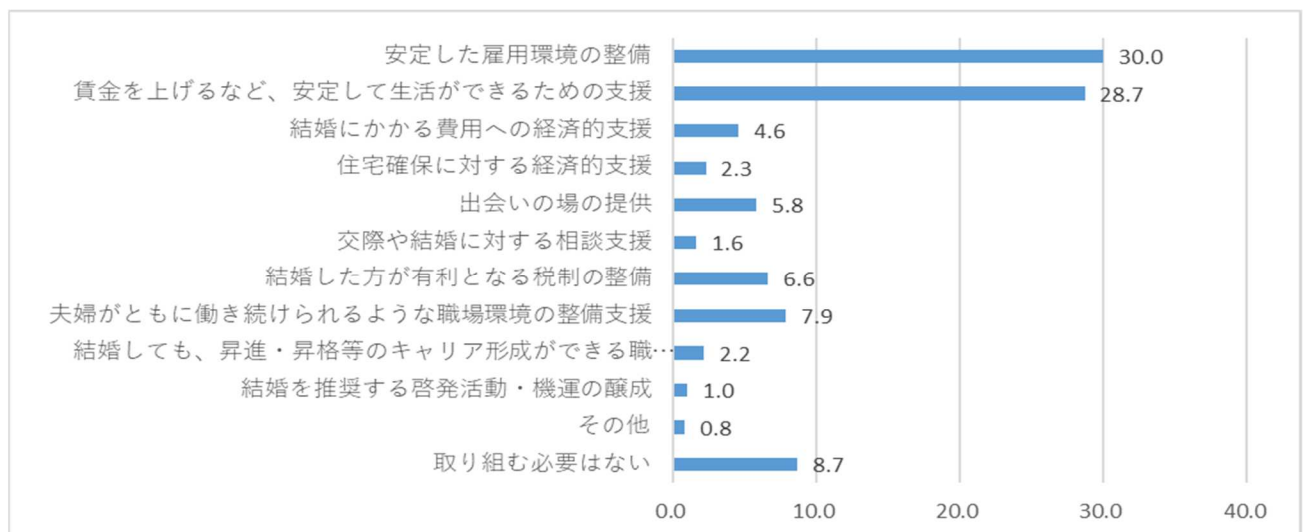


出典:兵庫県ホームページ

(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf11/documents/r5kenminishiki-kosodate.pdf>)

■〈兵庫県〉結婚できる環境整備について行政が行うべき取り組み(1位のみ:n=4,000)

同じく兵庫県が実施した意識調査で結婚できる環境を整えるために行政が行うべき取り組みについて、1位～3位までの順位を聞いたところ、1位に最も多くあげられたのは、「安定した雇用環境の整備」の 30.0%で、賃金を上げるなど、安定して生活するための支援(28.7%)、「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の整備支援」と続いており、安定した生活を送るための雇用環境や賃金を求める声が多くなっている。



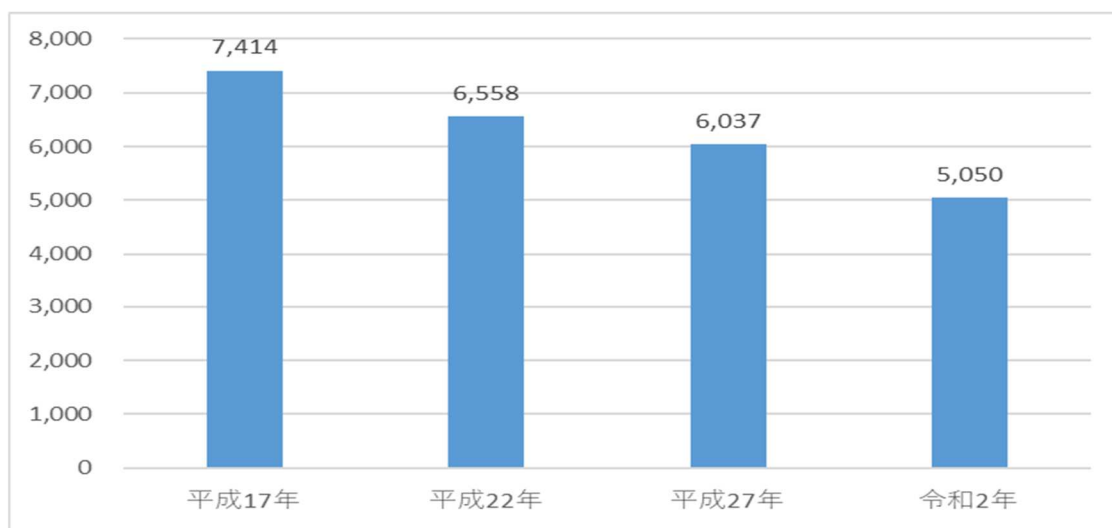
出典:兵庫県ホームページ

(<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf11/documents/r5kenminishiki-kosodate.pdf>)

(5)若者の就労状況

■15～39歳の就業者数の推移

若年層の人口減少により15歳～39歳の就業者数は年々減少しており、平成17年から令和2年の15年間で2,364人(32%)減少しました。



資料：国勢調査

■15～39歳の完全失業者数と完全失業率

15歳～39歳の完全失業者数と完全失業率はともに減少傾向にあります。

	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
完全失業率	3.9%	3.7%	3.0%	3.0%
完全失業者数	463	398	280	242

資料：国勢調査

■丹波地域高等学校等卒業者の就職状況の推移

丹波地域(丹波市・丹波篠山市)の高卒者の就職希望者に対する管内求人倍率は令和2年度から令和5年度にかけて増加している。

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
卒業年月日	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月	令和6年3月
卒業生数	770	647	672	589
就職希望者数	200	142	134	124
就職希望率	26.0%	21.9%	19.9%	21.1%
就職決定数	200	142	134	124
管内求人数	408	429	473	512
管内就職者数	126	88	74	78
管内就職率	63.0%	62.0%	55.2%	62.9%
求人倍率	2.04	3.02	3.5	4.13

(令和6年6月現在)

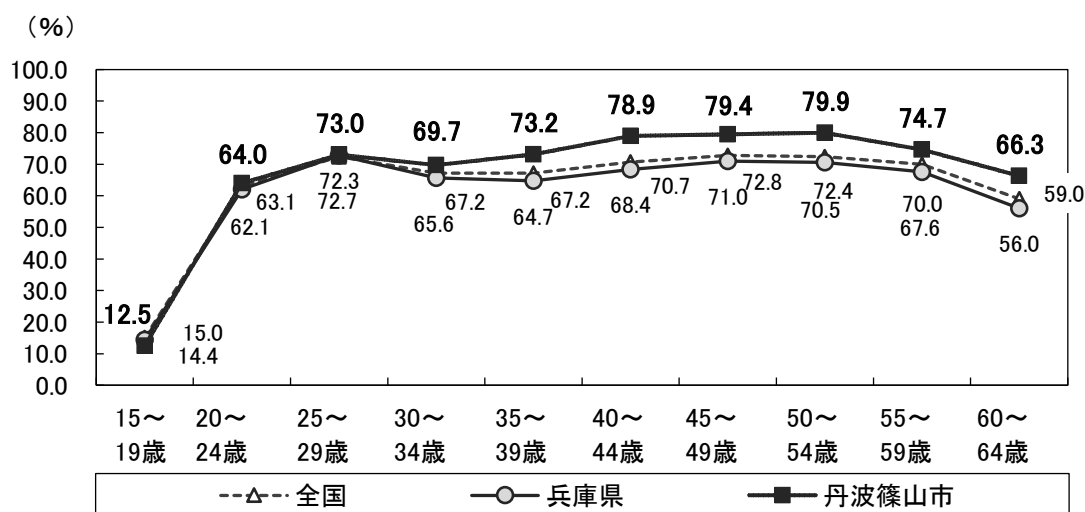
出典：丹波市公式ホームページ

(<https://www.city.tamba.lg.jp/material/files/group/32/siryou6.pdf>)

(6)女性の就労の状況

■女性の年齢階層別労働力率(全国・兵庫県・本市の比較)

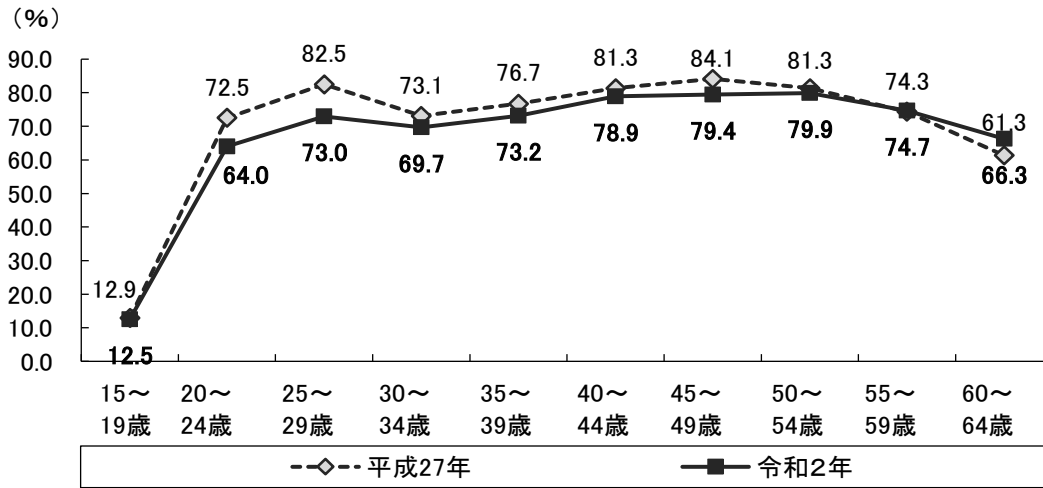
本市の女性の労働力率を年齢階層別にみると、30歳代で労働力率が低下するM字型となっています。全国・県と比較すると、本市は成人女性においては、いずれの階層においても労働力率が高くなっています。



資料：国勢調査（令和2年）

■本市における女性の年齢階層別労働力率比較

本市における平成 27 年と令和 2 年の女性の労働力率を比較すると、令和 2 年では平成 27 年より労働力率が 55 歳以降を除き減少しています。とくに、20 歳代の労働力率が平成 27 年に比べ低い水準となっております。また、30 歳代で労働力率が低下する M 字型曲線の傾向は引き続きみられます。

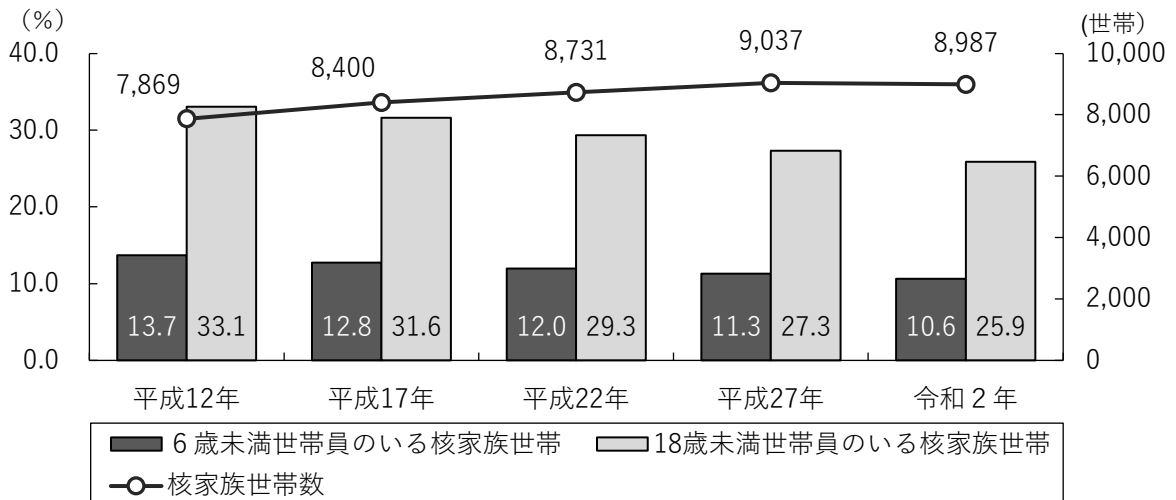


資料：国勢調査

(7)子育て世帯の推移

■6歳未満世帯員及び18歳未満世帯員のいる核家族世帯の割合

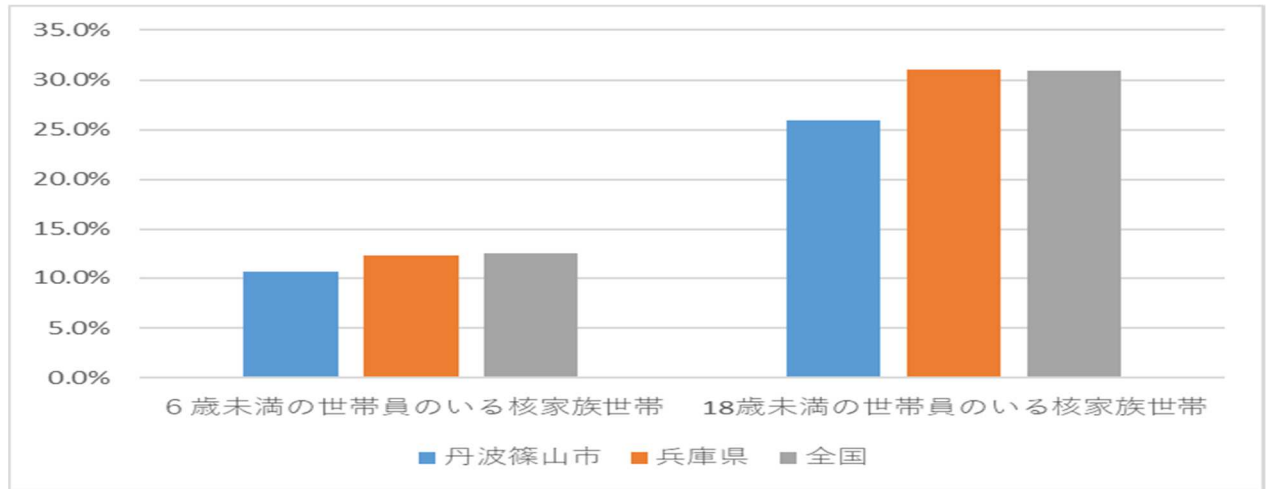
核家族世帯数は平成 12 年から平成 27 年にかけて増加傾向にありましたが、令和 2 年に減少に転じています。18 歳未満世帯員のいる核家族世帯と 6 歳未満世帯員のいる核家族世帯においては、平成 12 年以降減少傾向にあります。



資料：国勢調査

■一般世帯数に占める子どもがいる核家族世帯の割合(国・兵庫県・本市の比較)

子どもがいる核家族の割合を全国や兵庫県と比較すると、本市は全国や兵庫県より低い水準であることがわかります。

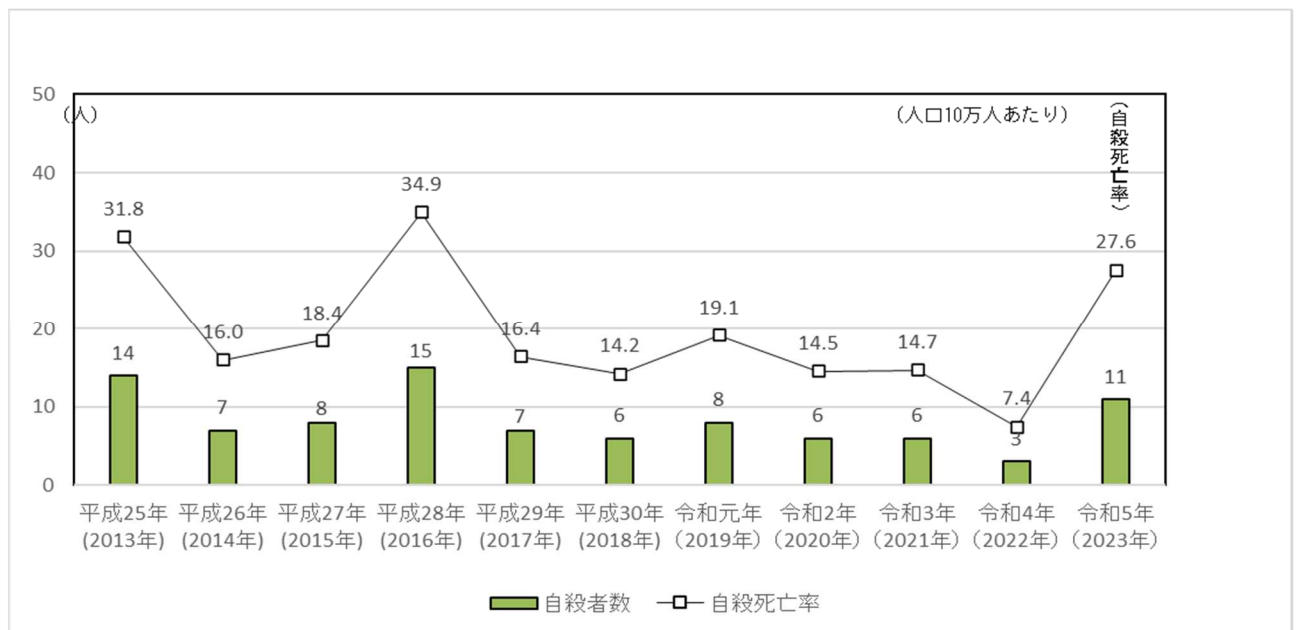


資料：国勢調査

(8)こども・若者をめぐる自殺の状況

■〈全年代〉自殺者数の推移

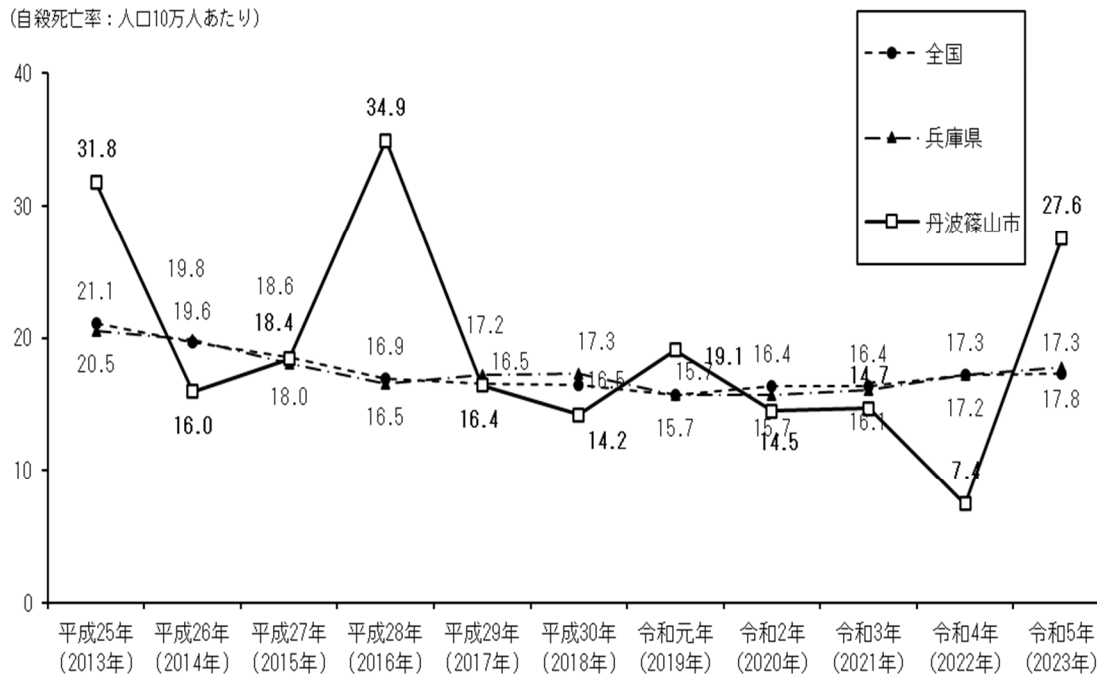
本市の年間自殺者数は3～15人の間で増減を繰り返しています。40歳未満の自殺者の割合は男性が44.8%、女性は20.9%と全国・兵庫県と同水準になっています。



資料：内閣府・厚生労働省が公表している「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・居住地ベース)

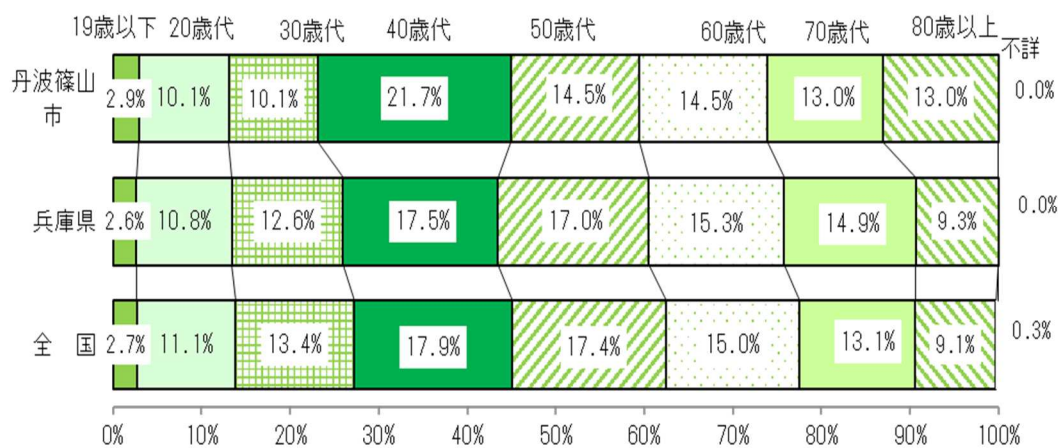
■〈全年代〉自殺死亡率の推移(全国比較)

(自殺死亡率：人口10万人あたり)



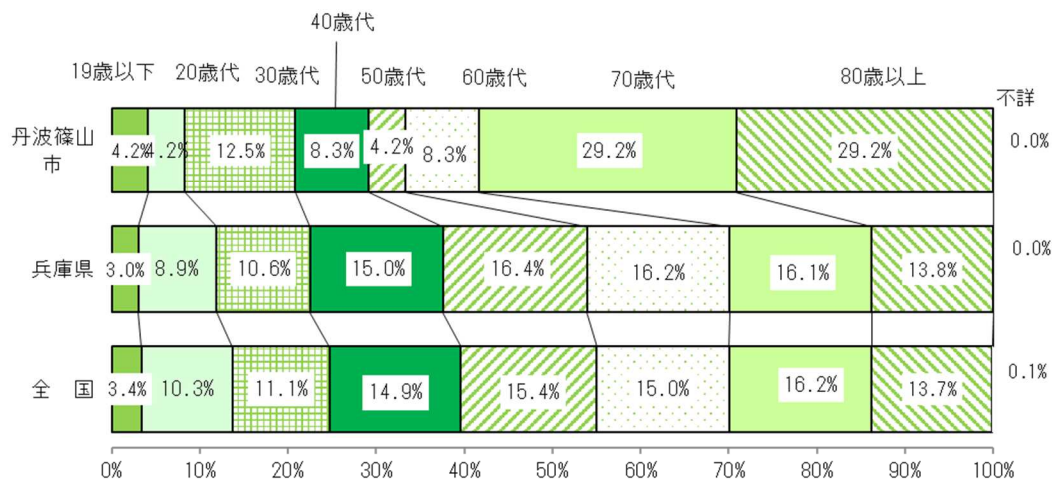
資料：内閣府・厚生労働省が公表している「地域における自殺の基礎資料」(自殺日・居住地ベース)

■平成25年～令和5年の年代別自殺者の割合(男性)



資料：第2次丹波篠山市自殺対策計画

■平成25年～令和5年の年代別自殺者の割合(女性)

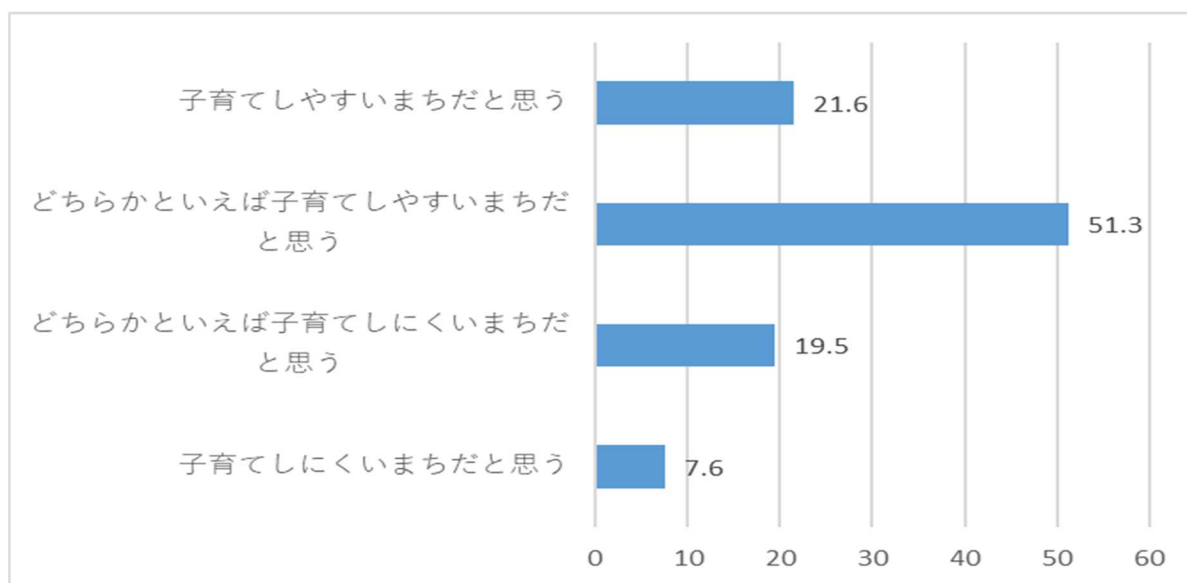


資料:第2次丹波篠山市自殺対策計画

(9)子育て支援に関するアンケート調査の結果

■丹波篠山市は「子育てしやすいまちである」と思いますか(n=370)

令和4年に実施した子育て世帯(0歳から小学6年生がいる世帯)を対象としたアンケートでは「丹波篠山は子育てしやすいまちである・どちらかといえば子育てしやすいまちである」と回答された方が74.0%で、「子育てしにくいまちである・どちらかといえば子育てしにくいまちである」が27.1%となりました。

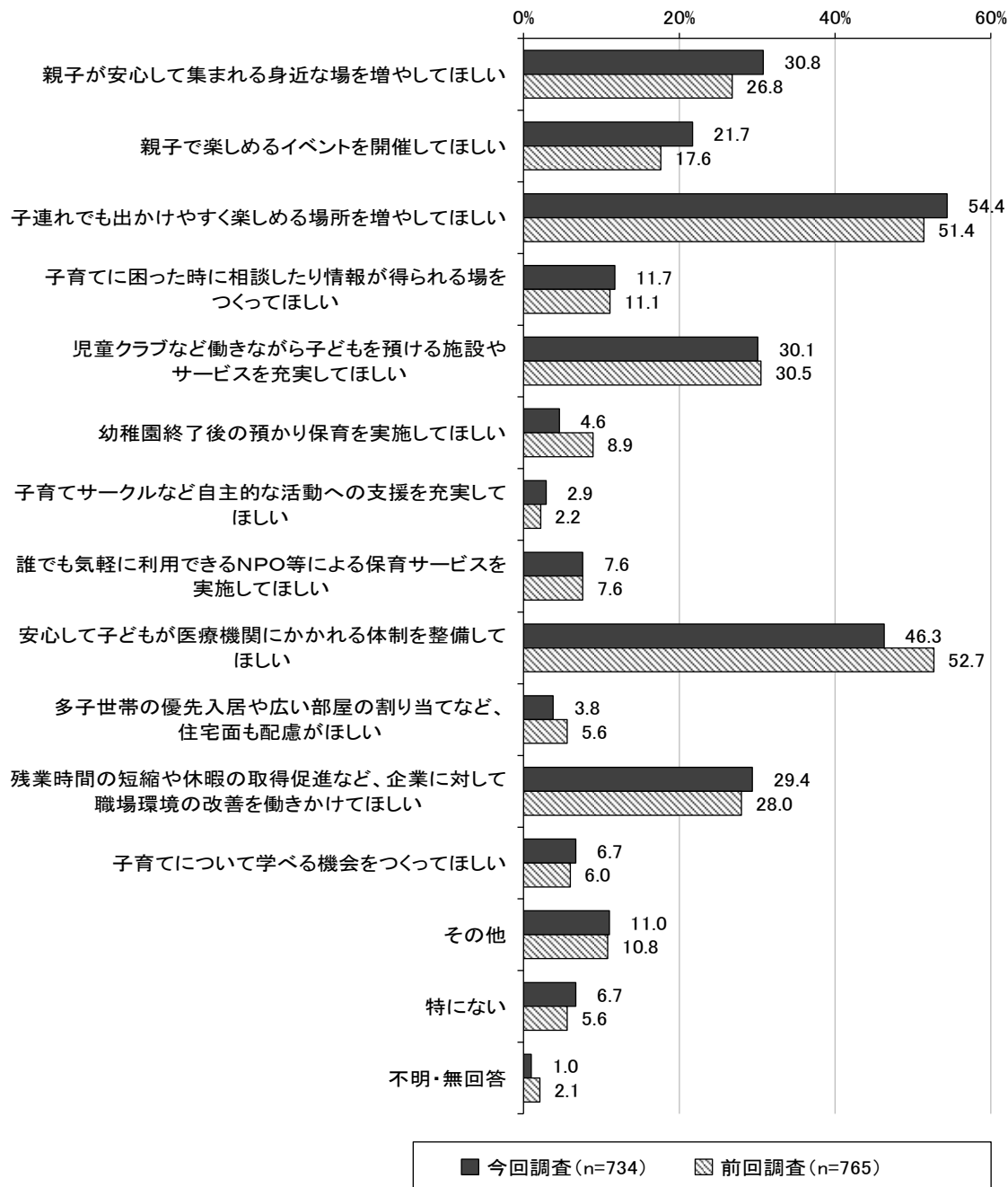


資料:令和4年度丹波篠山市子育て支援に関するアンケート調査

■丹波篠山市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。

(5 つまで回答可)

令和 5 年度に市内の小学生児童をもつ保護者を対象に実施したアンケートでは、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が 54.4%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が 46.3%、「親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」30.8%、「児童クラブなど働きながら子どもを預ける施設やサービスを充実してほしい」30.1%となっています。

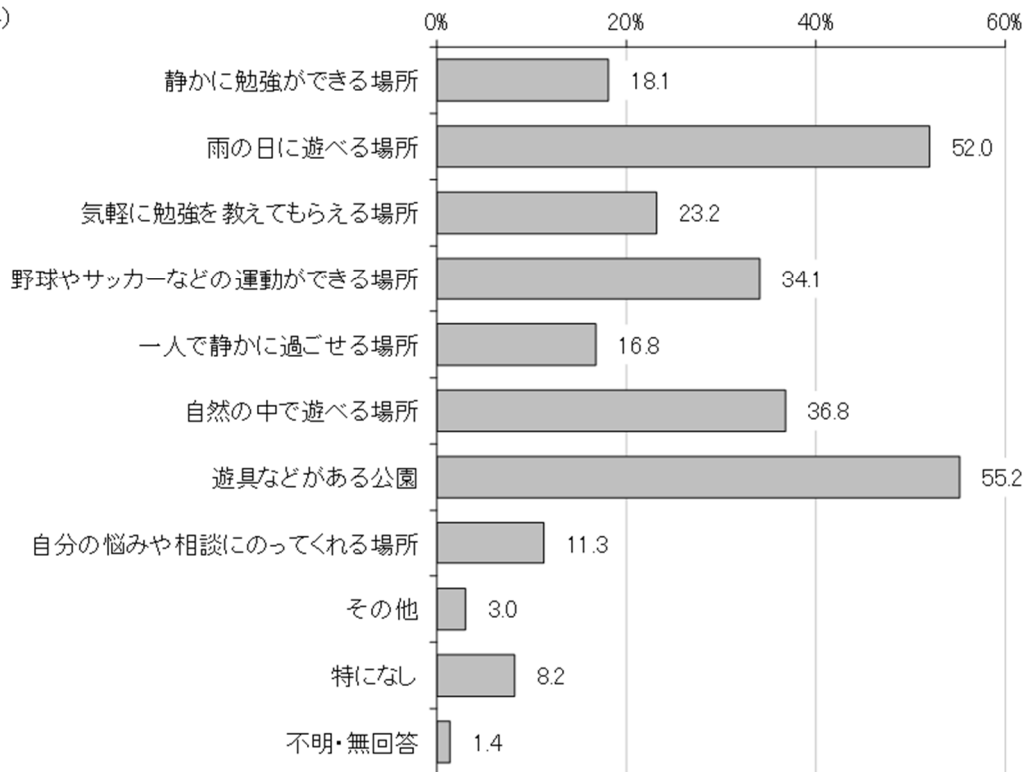


資料:丹波篠山市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査

■こんな場所があったらいいなと思う場所はどこですか。(当てはまるものすべて回答)

令和 5 年度に市内の小学生児童をもつ保護者を対象に実施したアンケートでは、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が 54.4%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」が 46.3%、「親子が安心して集まれる身近な場を増やしてほしい」30.8%、「児童クラブなど働きながら子どもを預ける施設やサービスを充実してほしい」30.1%となっています。

全体(n=734)

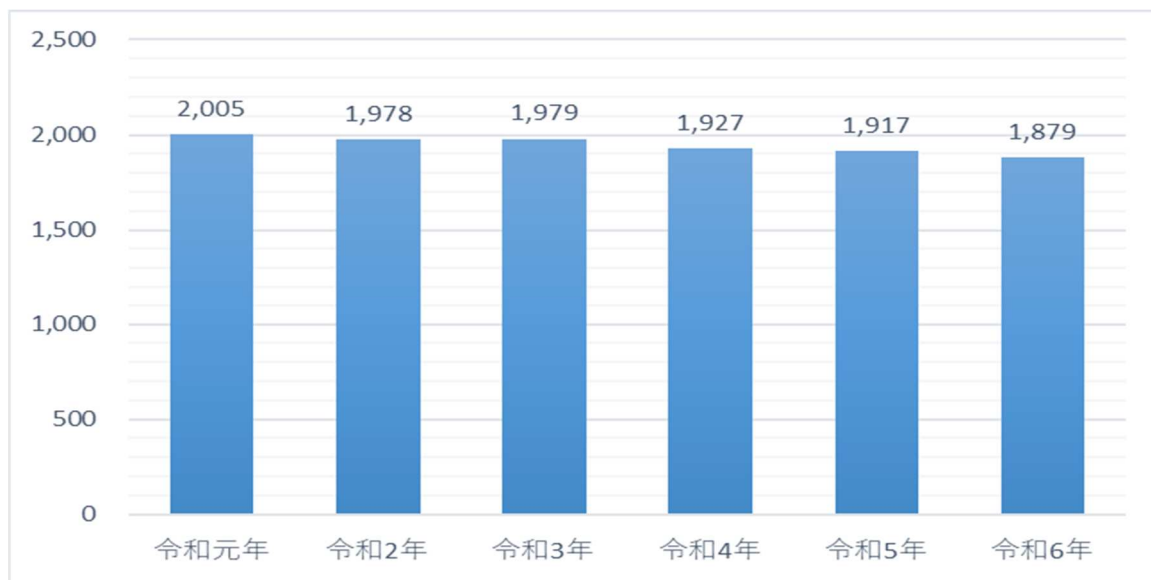


資料:丹波篠山市子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査

(10)児童生徒数の状況

■市内小学校児童数の推移

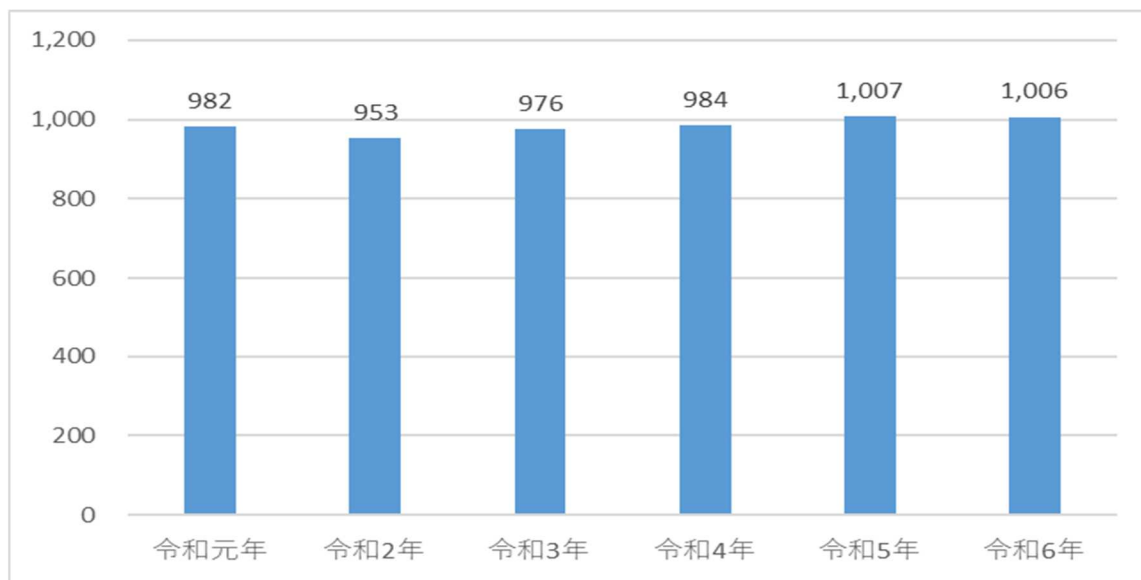
小学校児童数は減少しており、令和元年度に比べ令和6年度は126人(6.3%)減少しました。



資料：教育総務課 各年4月9日現在

■市内中学校生徒数の推移

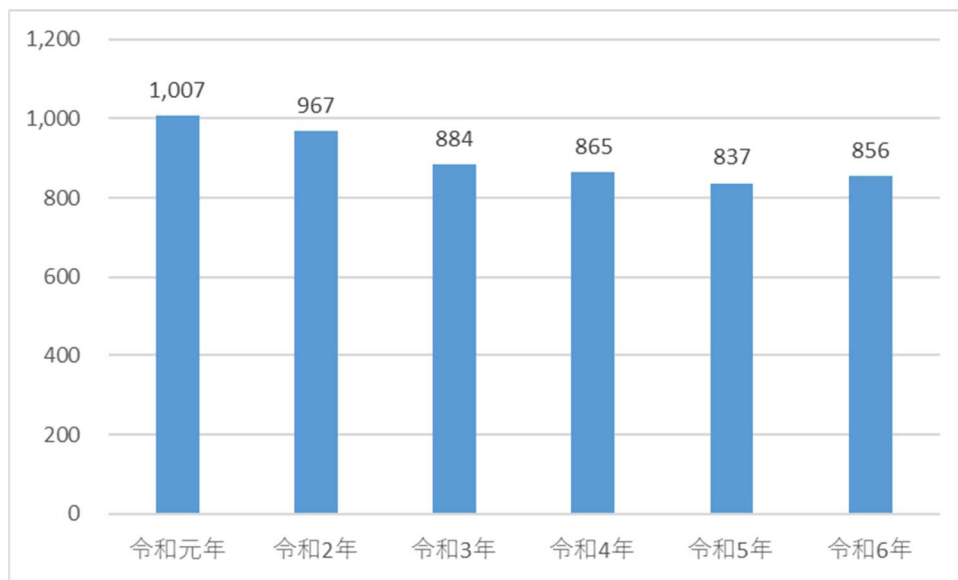
中学校生徒数は令和元年から令和6年にかけては同一水準で推移しています。



資料：教育総務課 各年4月9日現在

■市内高等学校生徒数の推移

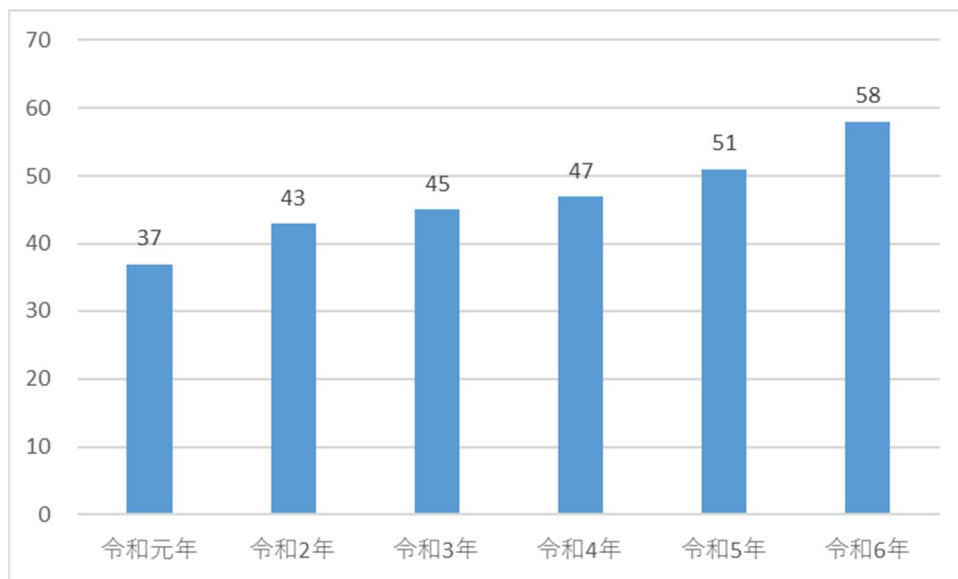
高等学校生徒数は減少しており、令和元年度に比べ令和6年度は151人(15%)減少しました。



資料：学校基本調査（文部科学省）

■特別支援学校(幼稚部～高等部)在籍者数の推移

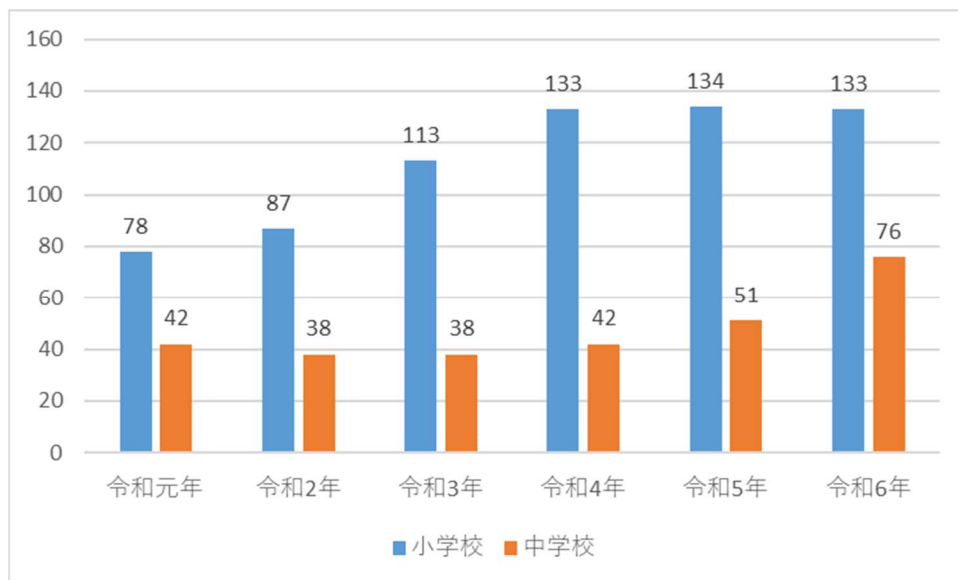
特別支援学校の在籍者数は令和元年以降、増加傾向にあります。



資料：教育総務課 各年4月9日現在

■小中学校における特別支援学級在籍者数の推移

特別新学級の在籍者数は令和元年以降、小学校・中学校ともに増加傾向にあります。



資料：学校基本調査（文部科学省）

(11)学力状況調査の結果

■「全国学力・学習状況調査」および「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」

正答率については実施年度や学年により結果にばらつきがあります。年度によっては全国平均を+6ポイント以上高い項目もありますが、おおよそ各教科±5ポイント以内で全国平均と同程度にあります。

令和4年度

	小5（市）	小6（全国）	中1（市）	中2（市）	中3（全国）
国語	±0	±0	+1	+2	+3
算数・数学	-1	-2	+2	+5	-2

令和5年度

	小5（市）	小6（全国）	中1（市）	中2（市）	中3（全国）
国語	-3	±0	+1	+2	-1
算数・数学	-5	-4	±0	+6	-1

令和6年度

	小5（市）	小6（全国）	中1（市）	中2（市）	中3（全国）
国語	-2.6	-1.7	+0.8	+3	+1.9
算数・数学	-2.6	-1.4	-0.1	+1.3	+6.5

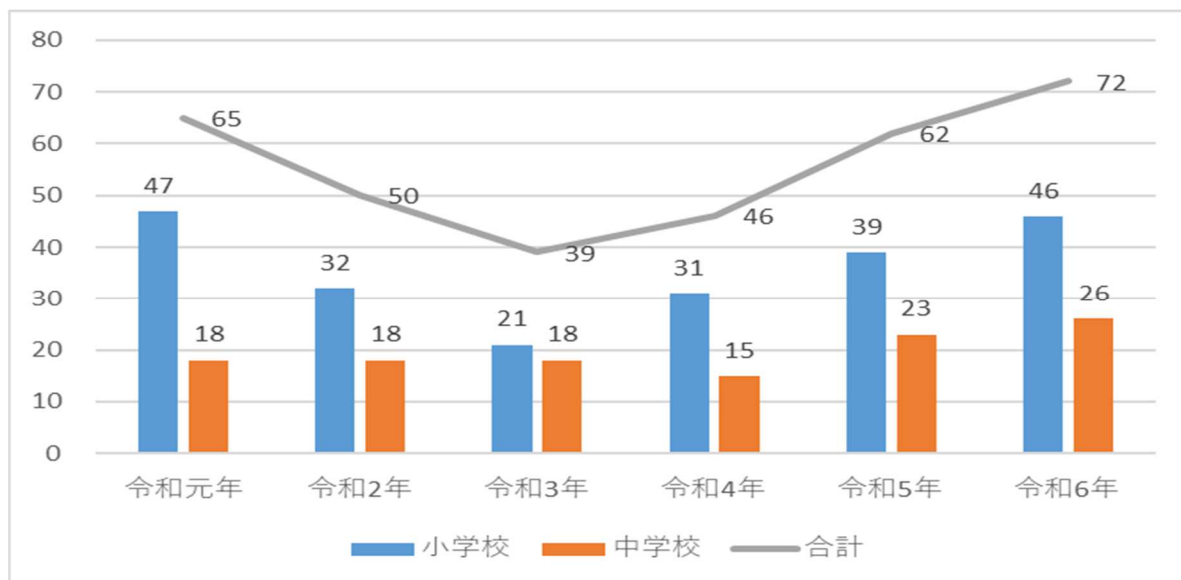
※小学5年生および中学1・2年生は市調査、小学6年生および中学3年生は全国調査です。

※調査により測定できるのは、学力の一部です。

(12)いじめ認知件数

■小中学校におけるいじめの認知件数

小中学校におけるいじめの認知件数は令和元年度から令和3年度にかけて減少していましたが、令和4年度以降増加しています。



資料:学校教育課

■小中学校における1,000人あたりのいじめの認知件数

1,000人あたりのいじめ認知件数は小中学校ともに全国、兵庫県を大きく下回っています。

【公立小学校】

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	76.4	67.1	80.7	89.8	97.4
兵庫県	57.0	53.6	75.3	83.8	99.4
丹波篠山市	23.4	16.2	10.6	16.1	20.4

【公立中学校】

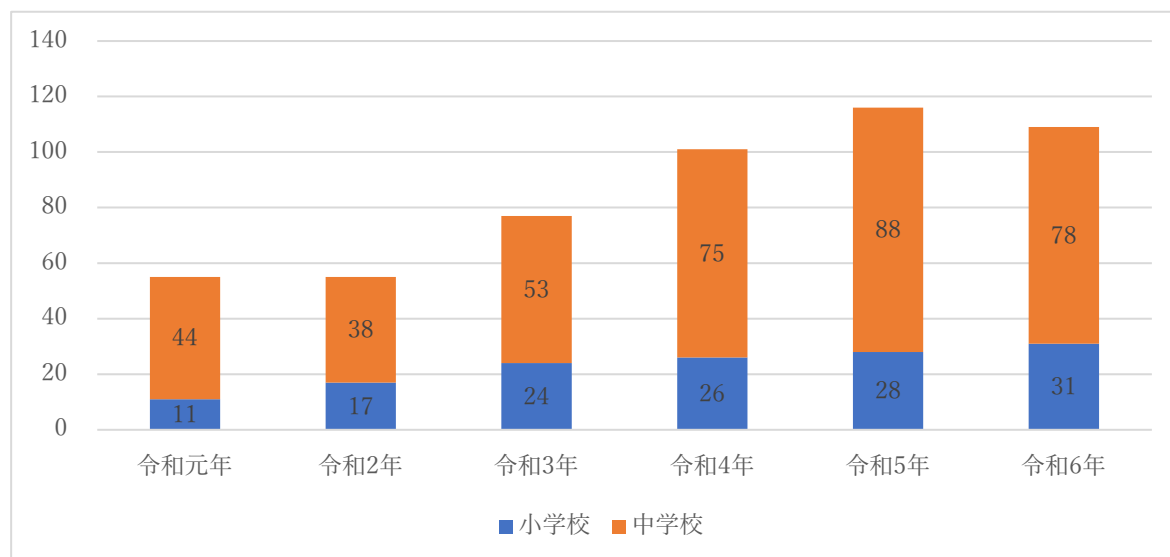
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	34.5	26.5	31.9	36.5	40.7
兵庫県	44.0	33.2	38.4	42.8	49.3
丹波篠山市	18.3	18.9	18.4	15.2	22.8

※全国・兵庫県の件数は「令和5年度兵庫県下の公立学校児童生徒の問題行動・不登校等の状況について」より

(13)不登校児童生徒への支援

本市の小中学校における不登校児童生徒数は増加傾向にあると言えます。不登校児童生徒が全児童に占める割合を全国・県と比較すると、小学校の割合は全国・県より低い割合になっています。中学校は令和3年までは例外はあるものの全国・県と同水準でしたが、令和4年と令和5年は全国・県よりも高い割合となっています。

■小中学校における不登校児童生徒数の推移



資料:学校教育課

※不登校児童生徒は年間に30日以上登校しなかった者

■全国・県・市における不登校児童生徒数が全児童生徒数に占める割合

小学校

項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	0.84	1.01	1.32	1.75	2.16
兵庫県	0.82	1.01	1.32	1.8	2.19
丹波篠山市	0.55	0.86	1.21	1.35	1.46

中学校

項目	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全国	4.12	4.3	5.26	6.27	7.04
兵庫県	4.62	1.91	5.82	7.06	7.64
丹波篠山市	4.48	3.99	5.42	7.62	8.74

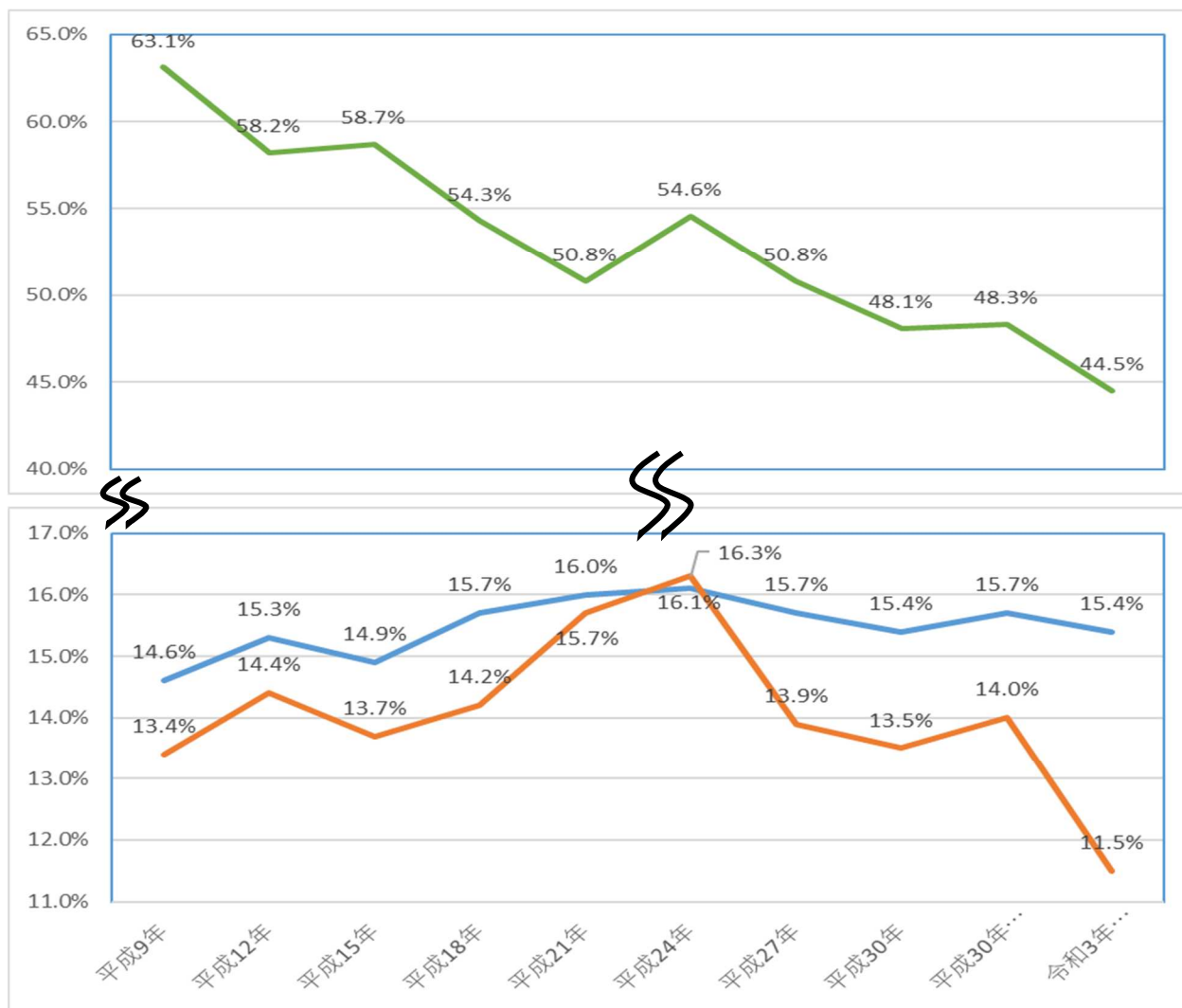
※在籍者数に対する不登校児童生徒数。

資料:文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より

(14)こどもの貧困をめぐる状況

■子どもの貧困率(全国)

こどもの貧困率は低下傾向にあり、令和3年は11.5%となっています。しかし、ひとり親世帯の貧困率は40%を超えており、就労していても経済的に苦しい傾向にあります。



資料：国民生活基礎調査（厚生労働省）

※貧困率はOECDの作成基準に基づいて算出している。

※相対的貧困率とは、等価可処分所得(※1)の貧困線(※2)に満たない人の割合をいう。

→保育サービスなどの現物給付や資産の多寡が考慮されていないことに留意

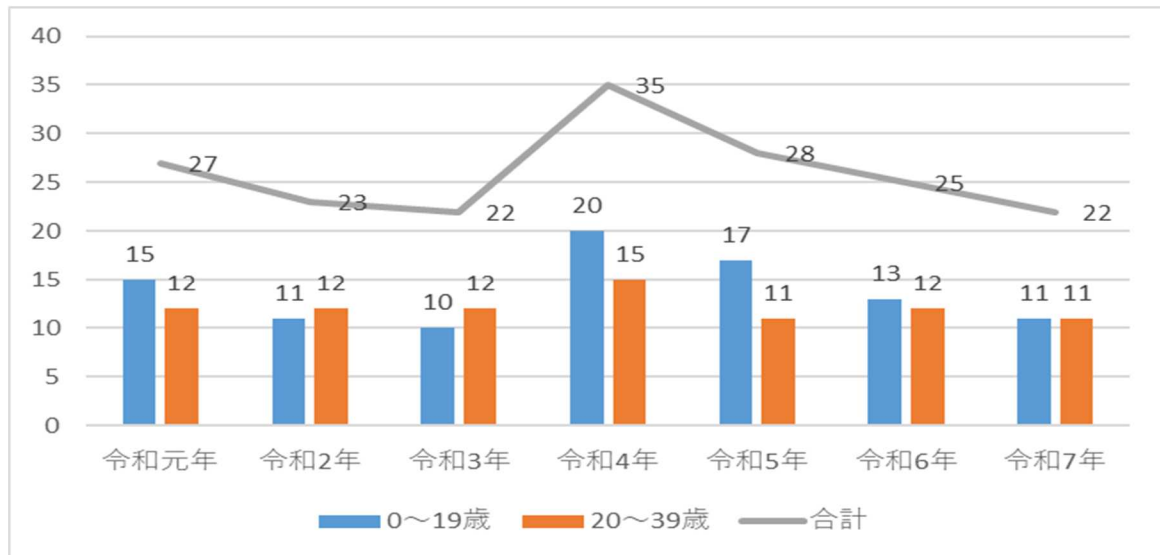
(※1)世帯の可処分所得(収入から直接税・社会保険料を除いたもの)を世帯人員の平方根で割った金額

(※2)等価可処分所得の低い人から順に並べて、真ん中の順位(中央値)の金額の半分の金額

※新基準は2015年に改定されたOECDの所得定義の新たな基準で、従来の可処分所得からさらに「自動車税・軽自動車税・自動車重量税」、「企業年金の掛金」及び「仕送り額」を差し引いたもの。

■若年層(0歳～39歳)の生活保護受給者数の推移

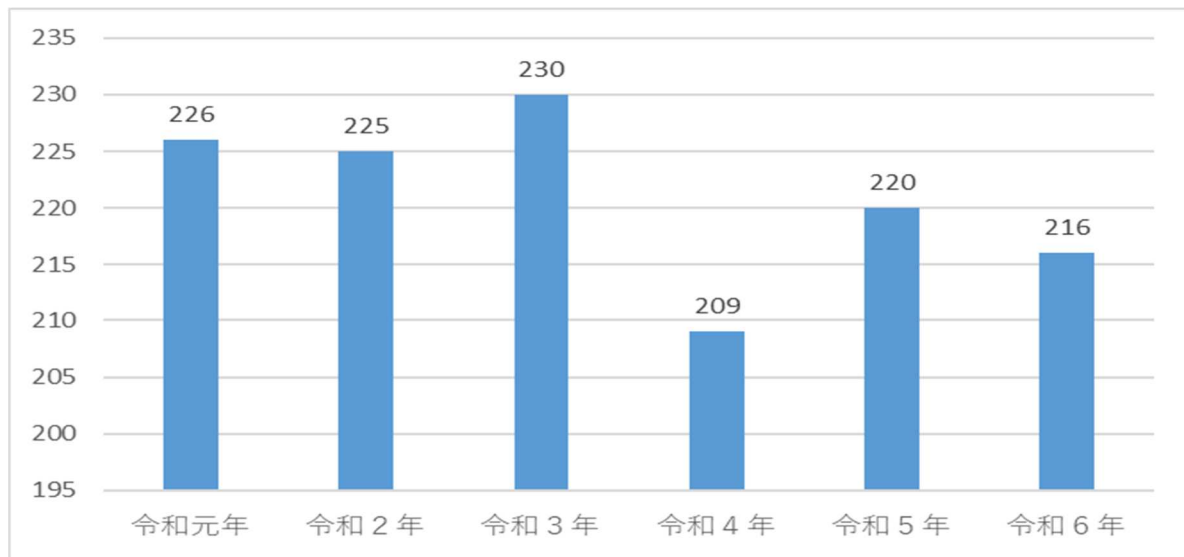
令和4年に受給者数が増加していますが、以降は減少傾向にあります。



資料：社会福祉課 各年4月1日現在

■児童扶養手当受給者数の推移

令和元年以降、一貫した傾向は認められませんが、209人から230人の間で増減を繰り返しています。



資料：社会福祉課 各年3月末日現在

(15) 支援が必要な子ども等の状況

■各種相談件数の推移

令和2年度から My 助産師制度を開始したことに伴い、母子保健の相談件数が増えています。その他に関しては年度によってばらつきはあるものの、大きな増減は認められません。

	養護 (内 虐待)		障害	非行	育成	母子保健	その他	合計
令和元年度	68	(27)	3	2	16	460	3	558
令和2年度	74	(17)	2	2	16	700	2	803
令和3年度	61	(12)	5	2	15	810	2	899
令和4年度	48	(6)	10	3	11	790	2	863
令和5年度	78	(17)	6	5	4	860	0	956
令和6年度	71	(11)	9	0	2	790	2	874

※ () は内数

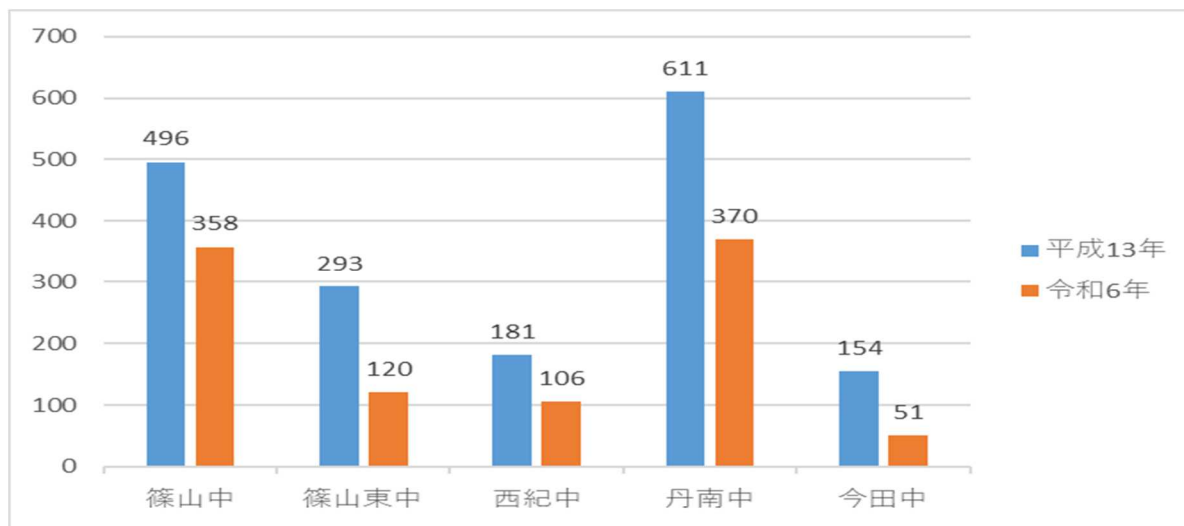
種別	内容
養護相談	父母等保護者の家出、死亡、離婚等による養育相談、虐待等の子どもに関する相談。
障害相談	肢体不自由、視聴覚、言語発達障害、重症心身障害、知的障害、自閉症等の症状を有する相談。
非行相談	虚言、家出、乱暴、性的逸脱等のぐ犯、飲酒、喫煙等の相談
育成相談	人格の発達上の問題となる反抗、友達と遊べない、落ち着きがない、家庭内暴力、不登校、遊びやしつけ等に関する相談
母子保健	妊娠、出産に伴う相談。
その他	上記に属さない相談

資料：社会福祉課、健康課

(16) 中学校部活動をめぐる状況

■部活動の活動人数

平成13年時点と比較すると活動人数は大幅に減少しており、廃部、休部や複数校合同部活動などが増加している。



■丹波篠山市の部活動数(令和6年度)

学校規模の違いにより、部活動の選択肢に偏りが生じている。

	篠山中	篠山東中	西紀中	丹南中	今田中
運動部	14	6	5	10	4
文化部	3	1	1	2	1

■部活動地域展開の状況

	地域展開達成	種目・指導者	
地域クラブ	○	サッカー	丹波篠山SC
	○	剣道	剣道連盟中学部
	○	ホッケー男	HC HYOGO HEARTS
	○	ホッケー女	HC HYOGO HEARTS
	○	ソフトボール	丹波篠山市中学校ソフトボールクラブ
地域クラブ(予定)	令和7年度に達成予定	軟式野球	R7年度中に実証活動(予定)
		男子バレー	R7年度中に実証活動
		男子バスケ	R7年度中に実証活動
部活動指導員配置 (指導員数)	○	卓球	(篠山2、篠山東1、西紀2、今田1)
	○		
	○	女子バレー	(篠山東1、西紀1、丹南1)
	○	吹奏楽	(篠山2、篠山東1、西紀2、丹南2、今田1)
現在、顧問のみで 指導	部活動指導員の配置・地域クラブの指導により達成	陸上競技	現在公募中
		女子バスケ	現在公募中
		男子テニス	現在公募中
		女子テニス	現在公募中
		美術	現在公募中
		家庭	現在公募中

※部活動指導員を配置している種目においても、休日地域展開へ向けて協議を行う。

令和7年度10月現在



丹波篠山市こども計画第2巻
たんばささやま子ども・若者みらいプラン
～統計資料編～

令和8年（2026年）3月

■発行/丹波篠山市 教育委員会事務局 こども未来部 子育て企画課

〒669-2397 兵庫県 丹波篠山市北新町 41

TEL:079-552-0075 FAX:079-552-5764